

気象警報・注意報

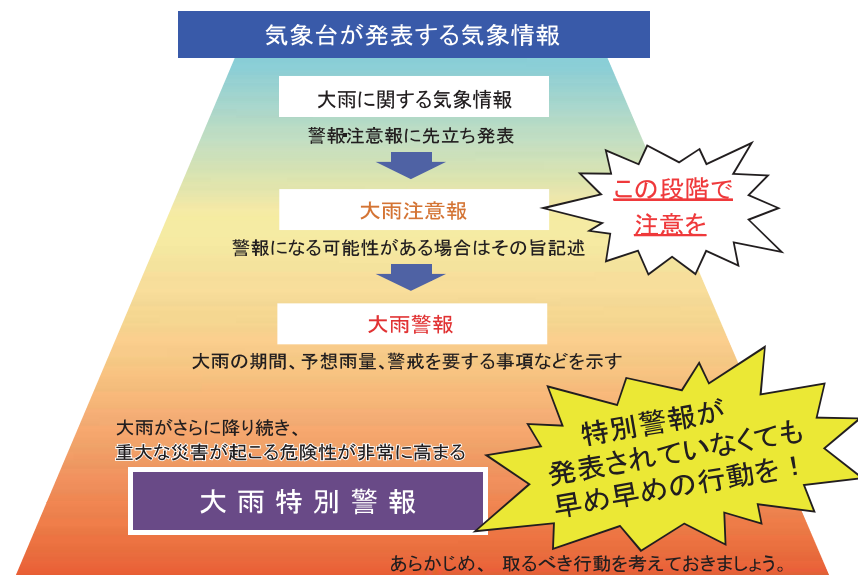
気象警報・注意報とは

気象庁は、大雨や強風などによって災害が起こるおそれのあるときは「注意報」を、重大な災害が起こるおそれのあるときは「警報」を、さらに、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合は「特別警報」を発表して注意や警戒を呼びかけます。

特別警報とは

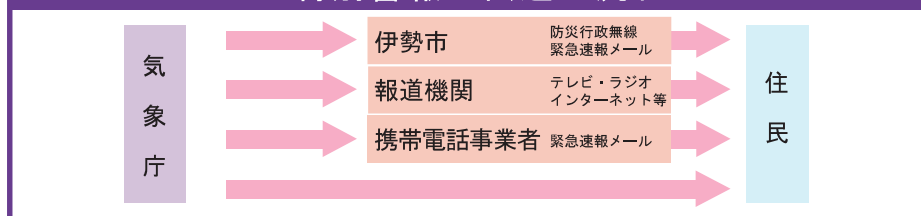
特別警報は、「東日本大震災」における津波や、「平成23年台風第12号」による豪雨、「伊勢湾台風」による高潮のような、警報の発表基準をはるかに超える異常な現象が予想され、重大な災害が起こる恐れが著しく大きい場合に発表されます。発表された場合はただちに命を守る行動をとってください。

特別警報が発表されるまで（大雨の場合のイメージ）



出典：気象庁ホームページ（<http://www.jma.go.jp/jma/press/1305/31a/250531leaflet.pdf>）を加工して作成

特別警報の伝達の流れ



避難開始のタイミングを知らう

5段階の警戒レベル



市内で災害が発生している状況です！

- 命を守るための最善の行動をとってください。

災害が発生する恐れが極めて高い状況です！

- 全員速やかに避難を開始してください。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。

- 避難に時間を要する人（高齢者、障がい者、乳幼児を連れている人など）とその支援者は避難を開始しましょう。
- その他の人は、避難の準備を整えましょう。

- 避難に備え、自らの避難行動を確認しましょう。

- 災害への心構えを高めましょう。

危険と感じた時には避難情報を待つことなく避難してください！

※必ずしもこの順番で発令されるとは限りません。

※津波は危険な地域から一刻も早い避難が必要になることから、基本的には避難指示のみを発令することとなり、伝達の際に「警戒レベル」を用いない。

非常持ち出し品の例

地震・津波・大雨・台風などの災害に備えて、避難するとき、すぐに持ち出せるように準備しておきましょう。

そろっていますか？ チェックしましょう!!

□食料品・飲料水

ビスケット・カンパン・缶詰・レトルト食品・缶・ペットボトル飲料など。
「アレルギーがある方は自分が食べても安全な食料を用意しておく。」

□救急・衛生用品

毎日飲んでいる薬、救急セット（消毒薬、絆創膏、包帯など）、ティッシュ、携帯用トイレ、ウエットティッシュ、マスク（防じんマスク）、生理用品、おむつ（大人用）など。

□道具

使い捨てカイロ、ナイフ、缶きり、ライター、割り箸、ポリ袋、雨具（カッパ）、ホイッスル、メガネ、食品用ラップフィルム、携帯電話充電器など。

□携帯ラジオ・照明器具

ラジオ兼懐中電灯、できれば電池不要タイプのラジオ、予備電池、懐中電灯、LEDライト、ローソクなど。

□衣類

下着、上着、軍手、ヘルメット、タオル、靴下など。

□貴重品

現金（小銭も）、保険証、免許証、印鑑など。

□その他

赤ちゃんがいる場合は粉ミルク、使い捨て哺乳瓶、おむつなど。



土砂災害

土砂災害とは、大雨や地震などが引き金となって、山やがけが崩れたり、水と混じり合った土や石が川から流れ出たりすることにより、生命や財産などが脅かされる自然災害です。

土砂災害は、発生のしくみや土砂の動き方から、大きく「土石流」「がけくずれ」「地すべり」の3つに分類することができます。これら3つの種類の災害は、降雨等を引き金にして発生しますが、いつ発生するかの予測は、現時点では困難な状況にあります。

土石流



こんな前ぶれに要注意!!

- 山鳴りがする
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる（土砂により上流で流れがせき止められている）
- 川が濁ったり、流木が流れる

がけくずれ



こんな前ぶれに要注意!!

- がけに割れ目が見える
- がけから水が湧き出ている
- がけから小石がばらばら落ちている
- がけから木の根が切れる音がする

地すべり



こんな前ぶれに要注意!!

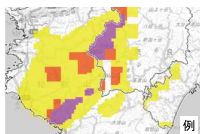
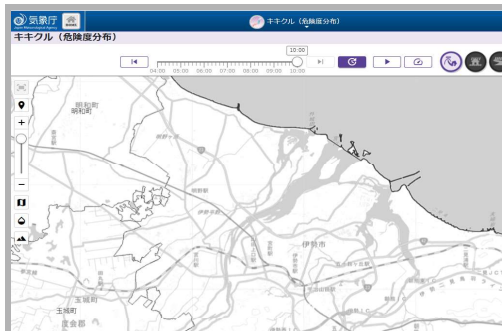
- 沢や井戸の水が濁る
- 地面にひび割れができる
- 斜面から水がふき出る
- 家やよう壁に亀裂が入る
- 家やよう壁、樹木が傾く
- 地すべりは、雨のほか、地震によっても引き起こされます

イラスト提供：NPO法人 土砂災害防止広報センター

土砂災害情報

三重県と津地方気象台が共同で発表し、大雨による土砂災害発生の危険が高まったとき、市が避難指示等を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるものです。

土砂災害情報を得る手段の一つとして、気象庁の「キキル」や三重県の「土砂災害情報提供システム」をご活用ください。



※上の図は伊勢市の平時の状況です。左の図は実際に危険が高まった地域の例になります。災害の危険が高まる際には左の図のように危険度分布が表示されます。

色を持つ意味	住民等の行動の例※1
極めて危険 すでに土砂災害警戒情報の基準に到達	過去の重大な土砂災害発生時に匹敵する極めて危険な状況。命に危険が及ぶ土砂災害がすでに発生しているおそれがある。この状況になる前に土砂災害警戒区域等の外でも安全な場所への避難を完了しておく必要がある。
非常に危険 2時間先までに土砂災害警戒情報の基準に到達すると予想	命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況。速やかに土砂災害警戒区域等の外でも安全な場所への避難を開始する。
警戒 （警戒級） 2時間先までに警戒基準に到達すると予想	避難の準備が難しい次第。土砂災害警戒区域等の外でも安全な場所への避難を開始。高齢者等は速やかに避難を開始する。
注意 （注意級） 2時間先までに注意基準に到達すると予想	ハザードマップ等により避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。特に、危険度分布をこまめに確認する。
低	今後の情報等に留意する。

土砂災害の危険度
高
極めて危険
非常に危険【警戒レベル4相当】
警戒【警戒レベル3相当】
注意【警戒レベル2相当】
低
今後の情報等に留意

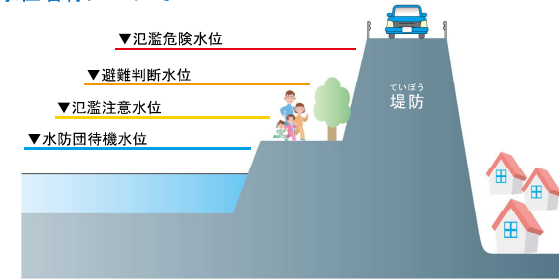


URL <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/> QRコードはこちら

洪水

河川の水位とその後の雨量の予測で避難指示等を発令します。

●洪水時の河川水位名称について



▼ 氾濫危険水位

相当の家屋浸水等の被害を生じる氾濫のおそれがある水位
住民の避難開始の目安となる水位
市の避難指示の発令判断の目安となる水位

▼ 避難判断水位

市の高齢者等避難の発令判断の目安となる水位

▼ 氾濫注意水位

消防団の出動の目安となる水位

▼ 水防団待機水位

消防団が出動のために待機する目安となる水位

河川名	観測所名	所在地	水 位 (m)			
			水防団待機水位	氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位
宮川	岩出	度会郡玉城町岩出	4.20m	5.00m	7.20m	8.20m
勢田川	岡本	伊勢市岡本2丁目	2.50m	2.60m	3.20m	3.40m
五十鈴川	中村	伊勢市中村町	1.50m		2.00m	2.70m
大堀川	大堀川新橋	伊勢市柏町	2.40m		2.50m	3.11m
外城田川	西豊浜	伊勢市西豊浜町	2.63m		3.19m	3.56m

河川名	観測所名	所在地	避難情報を発令する目安となる水位 (m)	
			高齢者等避難	避難指示
宮川	岩出	度会郡玉城町岩出	7.20m	8.20m
勢田川	岡本	伊勢市岡本2丁目	3.20m	3.40m
五十鈴川	中村	伊勢市中村町	2.00m	2.70m
大堀川	大堀川新橋	伊勢市柏町	2.50m	3.11m
外城田川	西豊浜	伊勢市西豊浜町	3.19m	3.56m

●国土交通省「川の防災情報」

国土交通省が全国のレーダ雨量情報や水位情報、洪水予報、ダムの放流情報などをリアルタイムで提供しているシステムです。



URL <https://www.river.go.jp/> QRコードはこちら